

- 管 内 根室管内
- 分 類 通学路の点検 交通安全教室 安全教育 その他（ ）
- 教育課程 教科（ ） 道徳 総合的な学習の時間 特別活動
- 校 種 小学校（低） 小学校（中） 小学校（高） 中学校 高等学校
- 取組のポイント

- 関係機関と連携した、スケアード・ストレイト教育技法を用いた交通安全教室の実施
- 自転車利用者としての交通ルールの遵守と交通マナーの向上、安全意識の高揚

取組の実際

ねらい

- 交通事故の再現スタントを直視することなどを通して、事故の衝撃や恐怖を体感し、自分の身を守るために、交通ルールを遵守することや交通マナー、モラルを高めることの重要性を理解させる。

内 容

- 協力 北海道警察・J A 共済連北海道

- 実施内容

(1) 交通事故再現スタント

- ・ 自動車の時速40km/hの衝突実験
- ・ 自転車の悪い乗り方の例
- ・ 歩行者専用道路での事故
- ・ 見通しの悪い交差点での事故
- ・ 横断歩道での事故
（自転車がベビーカーに衝突する事故）
- ・ 自転車のルール違反重複による事故
- ・ 大型車による左折巻き込み事故
- ・ 大型車による死角事故
- ・ 無灯火による夜間衝突事故

(2) 生徒会長による自転車安全利用宣言

(3) 北海道警察による概況説明

- 生徒の感想等

- ・ これから自転車に乗るときは、自動車や信号などをきちんと見て、安全確認をしていきたい。
- ・ ちょっとした不注意が大きな事故につながることを実感した。今後は、今まで以上に気を付けて自転車に乗りたい。



【見通しの悪い交差点での事故】



【横断歩道での事故】

成果と課題

- 交通事故の恐ろしさを直視することで、自転車交通事故の衝撃や恐怖を体感し、自転車乗車時の交通ルールの遵守や交通マナー向上などの意識改革が図れた。
- 交通事故の被害者としての視点だけではなく、加害者になる可能性があることを理解し、事故に対する危機感を意識することができた。
- 自校や保護者、地域住民だけではなく、複数の学校にも参加を呼びかけることで、多くの方に事故の怖さを周知する必要がある。